

説 明 版

富谷市洪水・土砂災害ハザードマップ

富 谷 市
令 和 3 年 版



★ ハザードマップとは？

ハザードとは「危険性」を意味しており、いわゆる危険性について表記した地図のことをいいます。つまり、ハザードマップとは、災害発生時に危険になると思われる場所や避難場所などを地図にまとめたもので、ハザードマップを活用して台風や大雨、地震などが発生した場合、危険なエリアを事前に把握しておくことで、万が一災害が起きた場合にも安全に避難をすることができ、命を守るにつながります。

1. 大雨時の防災情報ととるべき行動の目安 (P 1～2)

大雨時において様々な機関から防災情報（気象庁及び自治体等）が発表されます。令和元年6月以降、住民がとるべき行動を直感的に理解しやすいように「5段階の警戒レベル」を明記して提供されることとなりました。

ハザードマップ P. 2 に示す避難情報「5段階警戒レベル」の表を参照し、警戒レベル3の発令で高齢者等の避難に時間を要する方は避難を開始（その他の方も避難の準備を開始）し、警戒レベル4の発令では全員避難を開始しましょう。

なお、「避難準備・高齢者等避難開始」など、市が発令する避難情報に先立ち、気象庁や宮城県などが「警戒レベル相当情報」として警戒レベル3以上に相当する情報をお知らせすることがあります。P. 3「防災情報の入手先」に示す関係機関が提供する防災情報も確認して、自ら避難の判断をしてください。

また、警戒レベルの見直しが検討されており、変更となる可能性があるため、情報の収集に努めてください。

2. 防災情報の入手先 (P 3)

防災に関する情報の入手先を確認し、記録するなどしておきましょう。また、P. 3には、富谷市及び関係機関の情報へのリンクを用意しておりますので、あらかじめ事前に登録をお願い致します。

3. 土砂災害について (P 4)

大雨により発生する可能性がある災害の種類やその発生機構、災害の前兆などを紹介しています。自宅周辺の状況やテレビ、インターネットで得られる情報などをもとに、災害発生のおそれが高まっている場合は、自ら判断し、早めの避難を心がけましょう。

4. マイタイムラインの作成 (P 5～6)

- ① 洪水は、自然現象ですので、マイ・タイムラインに沿って行動すればよいということではなく、気象の変化、災害が発生する時間が明るい時間と暗い時間によって行動のしかたに違いがあります。
- ② 状況に応じて自ら判断しなければなりません。例えば、暗い時間に雨が強くなる予報なので明るいうちに行動するなど、必ずしもマイ・タイムラインのとおりになるものではないことに留意してください。

5. 非常持出品 (P 7)

家庭では、あらかじめ自宅周辺の洪水や土砂災害の危険性(リスク)を把握しておくとともに避難先や災害時の行動について、家族で話し合い、情報を共有しておくことが大切です。また、併せて非常持出品や非常備蓄品の準備を行いましょ。

6. 避難行動 (P 8)

避難は、災害が発生する前に安全な場所へ移動するほか、浸水深が小さい地域では自宅の2階など安全が確保できる場所で待機するなどの「屋内安全確保」があります。

ただし、堤防決壊等に伴う氾濫流や河岸侵食の発生するおそれがある地域、浸水深が3 m以上（建物2階も浸水）となる地域では、そこにとどまることで被害にあう危険性があるため、災害が発生する前の早い段階で避難することが必要です。また、避難行動中にもさまざまな危険が隠れています。P. 8 で避難行動するときの心得などを確認しましょう。

7. ハザードマップの見方 (P 8)

- ① ハザードマップの確認、ハザードマップの見方を参考にして、P. 9～20 のハザードマップを見て、家庭で確かめ合っておきましょう。
- ② 自宅の近くの土地の高低、地形などから浸水した場合の想定をして、避難のしかたなどを考えてみましょう。

8. 洪水土砂災害ハザードマップ (P 9～20)

<洪水浸水想定区域>

- ① 防災ハザードマップには、想定最大規模（1000年程度以上に1回の規模）の降雨により、次の各河川が氾濫した場合に想定される浸水の区域と深さをシミュレーションにより予測した結果を示しています。
○鳴瀬川水系 吉田川、西川、明石川、竹林川、宮床川、穀田川、長柴川、板坂川、小野目川、
 苅又川、沼田川
- ② シミュレーションは、想定する降雨があった場合に、河川の両岸に100～200m程度の間隔で破堤地点（決壊地点）を設定し、決壊の有無を判定したうえで、それぞれの点で計算される浸水想定区域を重ね合わせたものです。
- ③ 支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等は考慮されていないため、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があるので注意してください。

<土砂災害警戒区域等>

ハザードマップには、宮城県が指定した土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域のうち、市内の区域を掲載しています。

9. 避難施設一覧 (P 21～22)

市では、P. 21 に指定緊急避難場所及び指定避難所を表記しております。

避難所は、災害の種類ごとに利用可否が設定されていますので、あらかじめ確認し、いざという時の避難先を決めておきましょう。

なお、ここに掲載している避難所等にしか逃げてはならないということではありません。知人宅や親戚宅なども含め、自身の命が助かることを最優先に考え、避難を行ってください。



富谷市洪水・土砂災害ハザードマップに関するお問い合わせ先

〒 981-3392

宮城県富谷市富谷坂松田30番地

富谷市役所 防災安全課

TEL : 022-358-3180 FAX : 022-358-2259